保存版

能代市内水ハザードマップ
（比井野川流域）

能代市では、大雨が降った場合に発生する浸水の想定区域と避難場所を明示した『内水ハザードマップ』を作成しました。

内水浸水とは、雨水が河川へスムーズに流れ出なかった場合に地盤が低いところで湛水し被害を受けることをいいます。

想定する雨量は、100年に一度の確率で発生するとされるもので、
24時間総雨量で191.5mmです。

自分の住んでいる場所などが、どの程度浸水するおそれがあるかを把握し、日ごろから浸水に備えることにより浸水被害の軽減を図るものです。

浸水時の注意等もあわせて載せていますので、いざという時に備え確認しておきまよう。

平成24年3月
能代市総務部総務課　防災危機管理室

水害について

水位の情報

河川の水位状況などにより、市は避難情報を発表します。
住民の皆さんは市から発表される情報をもとに、避難行動をとってください。

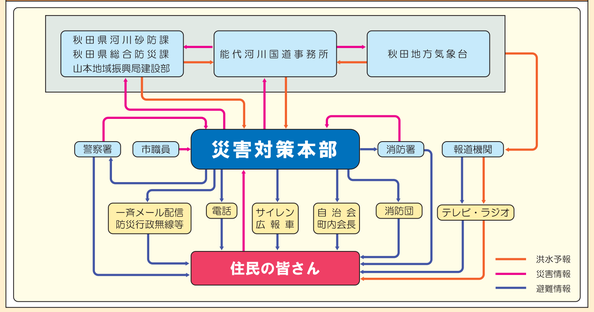
水位の名称と情報の種類	市からの呼びかけの例	みなさんの行動
水防団待機水位 消防団が出動のために待機する水位		
はん濫注意水位 **避難準備情報**の発令の目安になる水位	大雨・洪水警報が発令されています。 □□川が増水していますので、避難の準備をしてください。	避難の準備を整え、ラジオやテレビの情報に注意してください。 要援護者の方は避難を始めてください。
避難判断水位 **避難勧告**の発令の目安になる水位	□□川が越水する恐れがありますので避難してください。	家族、近所の方と助け合いながら、速やかに避難を開始してください。 要援護者の方は避難を完了してください。
はん濫危険水位 **避難指示**の発令の目安になる水位	□□川が越水する危険があります。 直ちに指定の避難所へ避難してください。	危険が迫っています。 一刻も早く避難を完了してください。

国土交通省や秋田県のホームページから各水位観測所の水位が確認できます。
能代市では各水位観測所の水位状況などを参考に避難情報を発表します。

（－：水位未設定）

水位観測所名	河川名	水防団待機水位	はん濫注意水位	避難判断水位	はん濫危険水位
二ツ井	米代川	3.00m	4.50m	5.50m （麻生、下田平地区）	5.90m （麻生、下田平地区）
				6.60m （上記以外）	7.00m （上記以外）
比井野川	比井野川	1.28m	1.36m	－	－

情報の伝達方法



避難について

避難時の注意事項

簡易水防工法の例

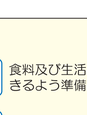
これらの簡易水防工法は、あくまでも小規模な水害で水深の浅い初期の段階で行うものです。災害に備え各ご家庭でできる、簡易水防工法などの準備や実践をしておくいざという時に役立ちます。また、危険を感じるような場合はただちに避難して下さい。

1. 簡易水のうと段ボール箱による工法

家庭で使用しているごみ袋に水を入れ、土のうの代わりに使用し、段ボール箱に入れ、これを連結して使用します。

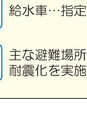
①簡易水のうの作成

40リットル程度の容量のごみ袋を二重にして中に半分程度の水を入れて閉める。ごみ袋の強度が不足する場合は、重ねる枚数を増やします。（買い物ポリ袋でも代用できます。）



②段ボール箱の利用

①の水のうを段ボール箱に入れ、これを連結して使用します。
水のうだけの場合と比べて強度が増し、中に詰める水のうも積み重ねて使用することもできます。



2.ポリタンクとレジャーシートによる工法

10リットル又は20リットルのポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み、連結して使用します。

3.プランターとレジャーシートによる工法

土を入れたプランターをレジャーシートで巻き込み使用します。

4.臨時の止水板による工法

長めの板、鉄板、身近にあるボード、テーブル、養等を用いて水の流入を防ぐことができます。

風水害への備えと防災情報の活用

雨の降り方と災害の危険性

大雨に対する事前の備え

気象情報に注意

ラジオ・テレビ・インターネットからの水防情報、気象情報に十分注意しましょう。

家財道具の移動

浸水などの恐れがあるところでは、家財道具や食料品、衣類、寝具などの生活用品を高い場所へ移動しましょう。

水位情報に注意

川の水位は豪雨のとき一気に上昇します。日頃からよく観察し、いざという時に備えましょう。
過去に起きた水害等を参考にしましょう。

家のまわりの点検

道路沿いの側溝や雨水ますが詰まると、道路冠水や浸水の原因になります。側溝のゴミや土砂を取り除き、雨水の排水をよくしましょう。
特に危険物の安全点検は入念に行いましょう。

水防の準備

土のうを積んで浸水防止を図りましょう。
簡易水のうや止水板も効果的です。
近所同士の協力が必要です。

避難に関する準備

非常用持ち出し品や服装を整え、避難の準備をしましょう。
特に乳幼児、お年寄り、病気の人は早めの避難を心がけましょう。

防災気象情報

ラジオやテレビのほかインターネットや携帯電話で防災関連情報を見ることができます。

- 国土交通省「川の防災情報」 http://www.river.go.jp/
- 国土交通省「川の防災情報」携帯電話版 http://i.river.go.jp/
- 国土交通省能代河川国道事務所 http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/index.html
- 秋田地方気象台 http://www.jma-net.go.jp/akita/
- 秋田県防災気象情報 http://www.akita-bousai.jp/weather/index.html
- 秋田県河川砂防情報システム http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/
- 秋田県河川砂防情報システム携帯電話版 http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/mobile/
- 能代市防災情報 http://www.city.noshiro.akita.jp/

災害に立ち向かうためには、市などの行政の対応だけでは限界があります。
大規模な災害に備えるために、**自分や家族を守り災害に備える「自助」**、
地域や企業が共同して助け合う「共助」、
行政が市民や事業者の安全を確保する「公助」の三者がお互いに協力し合い、
地域防災力の向上を図り、災害に強いまちづくりを目指しましょう。

「自分や家族を守る」

家族防災会議

災害が起きた時に被害を小さくするには、日頃の備えが大切です。
家族防災会議を開いて話しあっておきましょう。

- 家族の役割分担：家族で日常の防災対策の役割と、災害発生時の役割を決めておきましょう。
- 家の中や屋外の危険箇所：家の内、外、家具などの危険箇所をチェックし、事前の安全対策をしておきましょう。
- 家族との連絡方法：災害発生時の連絡方法を決めておきましょう。
- 避難所避難経路：家族で避難する場所を確認しておきましょう。避難所までの避難経路を事前に確認しておきましょう。

「お互いに助け合って家族や地域の人達を守る」

助け合いの仕組みづくり・自主防災組織

災害発生時に、地域住民の安否確認や救出、避難誘導を少しでも早くできるように、事前に地域で話し合い、「助け合いの仕組み」を確立しておきましょう。

- 地域での話し合い：市役所や消防署等と協力し、「助け合いの仕組みづくり」を地域全体で考え、防災意識を高めましょう。
- 要援護者の把握：災害発生時に地域において支援が必要な高齢者や障がい者等を把握しましょう。
- 訓練の実施：災害発生時に、「助け合いの仕組み」がうまく機能するように、日頃から訓練をしましょう。

自助　**共助**

「行政が市民や事業者の安全を確保する」

避難所対策支援

能代市では、市民の生命、身体及び財産を災害から保護するとともに被害を軽減し、市民の誰もが安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりの推進を目的とし、「能代市地域防災計画」を作成しています。

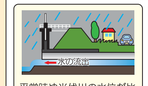
公助

- 備蓄物資：食料及び生活必需品等を備蓄し、必要な時、直ちに配備できるよう準備に努める。
- 応急給水施設：給水車…指定避難場所等に応急給水を行う。
- 耐震補強化：主な避難場所となる市内の小・中学校の校舎や体育館等の耐震化を実施。

排水ポンプ及び過去の内水被害

排水ポンプの運用について

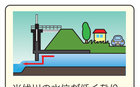
比井野川流域の内水被害を軽減するため、吸水槽、排水ポンプ（1ｍ³／秒×2台）、吐出管等が備え付けられています。
米代川の水位上昇により、比井野川の排水が不能となった場合は、逆流防止のため水門を閉め、吸水槽に湛水させ、排水ポンプにより堤防沿いの吐出管を通し、強制的に米代川に排除し内水被害の軽減を図ります。



平常時や米代川の水位が比井野川の水位より低いときは、水門を全開し、比井野川の水を米代川に流しています。

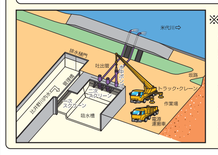
洪水により米代川の水位が上がり比井野川の水位より高くなると、比井野川に逆流して住宅地などに流れ込み浸水被害が発生する恐れがあるため、水門を閉めます。

しかし、水門を閉めると、比井野川の水の行き場所がなくなり、住宅地などに浸水して内水被害が発生するため、排水ポンプにより比井野川の水を強制的に米代川に排水します。



米代川の水位が低くなり、比井野川への逆流がなくなったら、水門を開け、比井野川の水を米代川に流します。

《比井野川救急内水排水施設稼働イメージ》

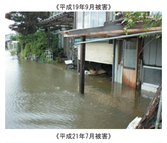


※　水門を全閉し、排水ポンプを運転している状態において、**米代川の水位が6．00m（計画高水位）を超えてさらに上昇する恐れがある時は、排水ポンプの運転を停止**します。
これは、さらに水位が上昇すると、米代川の堤防が決壊する可能性が高くなり、広範囲に甚大な被害が生じることになるため、このような状態のときには、米代川へ内水を排水することはできません。

過去の内水被害

洪水年月	家屋被害
昭和31年 7月	床上 3戸　床下30戸
昭和33年 4月	床下　3戸
昭和36年 4月	床下　5戸
昭和38年 7月	床下 11戸
昭和38年 8月	床上 3戸
昭和38年 8月	床上10戸　床下70戸
昭和47年 7月	（全壊 10戸　半壊　7戸 床上250戸　床下110戸）
昭和50年 8月	床下 27戸
昭和54年 8月	14戸
昭和55年 4月	44戸
昭和56年 7月	14戸
平成19年 9月	17戸
平成21年 7月	無　し
平成23年 8月	床上15戸　床下66戸

（平成19年9月被害）



（平成21年7月被害）

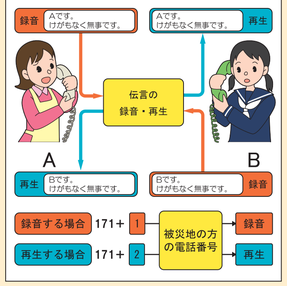
（平成21年7月被害）

（平成21年7月被害）

防災メモ

災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤルとは…大地震や大雨などによる大規模な災害が発生した際に、局番なしの「171番」に電話をかけることで、被災地以外の地域から安否の状況を音声で録音・再生することができるサービスです。



緊急連絡先

種別	施設名称	電話番号
公共機関	能代市役所本庁舎	52-2111
	能代市役所二ツ井町庁舎	73-2111
	能代市向能代地域センター	52-6318
	能代市南地域センター	89-2324
	能代市扇渕地域センター	58-3100
	能代市檜山地域センター	58-3101
	能代市鶴形地域センター	58-3211
	能代市常盤地域センター	59-2111
	能代市富根出張所	75-2111
	能代河川国道事務所	70-1001
	能代河川国道事務所二ツ井出張所	73-5432
	山本地域振興局建設部	52-6109
警察	能代警察署	52-4311
	能代駅前交番	52-6734
	西通町交番	52-6834
	南能代警察官駐在所	52-6609
	向能代警察官駐在所	52-6934
	東能代警察官駐在所	58-4110
	二ツ井交番	73-3046
	種梅警察官駐在所	73-2124
消防	能代消防署	52-3311
	能代消防署東能代出張所	58-3119
	能代消防署向能代出張所	54-3652
	能代消防署西消防出張所	55-0503
	二ツ井消防署	73-2327

避難場所・連絡先

家族が離ればなれになったときの集合場所や連絡方法を決めておきましょう。

＊例えば○○小学校の正門に集まるなど

避難場所・避難方法	

家族・親族等の連絡先及び救急データ

氏　名	電話番号・携帯電話番号	勤務先・部署/学校・学年	メモ（アレルギー・常備薬・持病・血液型）

家族のかかりつけ病院等の連絡先

氏　名	電話番号	医療機関名	メモ（病名・主治医名等）